

光と闇Ⅱ

ニューエイジの危険性

この小冊子は、ニューエイジ・ムーブメントの偽りに
ついて、聖書から指し示したものです。

ニューエイジとは？

現代に入り、既存の宗教とは違った、新しい霊的な活動が始まるようになりました。それを総称して、ニューエイジと呼びます。しかし、ニューエイジを一言で定義することはできません。はっきりとした教義があるわけでもありませんし、特定の神を礼拝しているわけでもありません。ある団体を指す言葉でもありません。ですから、明らかにニューエイジ的な思想によって活動していても、自分はニューエイジャーだと自覚していない人もいます。ただ、確かなことは、ありとあらゆるニューエイジの活動や思想は、ほんとうの神さまから来たものではなく、サタンから来たものであり、すべては偽りだということです。

まず、ニューエイジでよく使われる単語をあげてみましょう。

霊界 最高霊 守護霊 背後霊 高級霊 指導霊 地球創生 母なるガイア(大地) 水瓶座の時代 チャネリング 意識の変革 自己の発見
宇宙のエネルギー 宇宙の愛のエネルギー 生命のエネルギー 物質世界 スピリチュアル・ヒーリング 魂のいやし 気づき 瞑想
霊との交信 愛と平和 世界平和 世界統一 自然の調和 宇宙の調和 悟り 愛と真理 波動 輪廻転生

偽り：ニューエイジの特徴を大まかにまとめると、次のようになります。

☆神とは？

キリストも、仏陀も霊界の中のひとつの霊にすぎない。その霊界は、「最高霊」と呼ばれる霊によって統率されている。つまり、ありとあらゆる神々はみなひとつである。

☆人間とは？

人間は、生まれつき善である。現在、人間は進化の途上にあり、だんだん神になっていく。一人ひとりが真理であり、神である。

☆世界とは？

人間も自然も地球も一つの命であり、宇宙のエネルギーを受けることによって生きている。

真理：これに対して、聖書は次のように言います。

☆神とは？

神は唯一であり、神以外の力はすべてサタンのものである。

「わたしが主である。他にはいない。わたしをおいて神はいない」イザヤ書45:5

☆人間とは？

人間は神ではなく、神によって造られた被造物であり、生まれつき罪人である。

「だれもかれも背き去った。皆ともに、汚れている。善を行う者はいない。ひとりもない」詩篇14:3

☆世界とは？

自然は、人間のために創造されたものであり、人間のように魂を持つものではない。

「神は彼ら(人)を祝福して言われた。『産めよ、増えよ、地に満ちて地を従わせよ。海の魚、空の鳥、地の上を這う生き物をすべて支配せよ』」

創世記1:28

ニューエイジの指導者や、ニューエイジ的な思想の持ち主の例をいくつかあげてみましょう。

☆アメリカのある教会の牧師は、「自分はキリスト教の牧師だ」と言っており、「わたしの役目は、いやしだ」と公言しています。彼の教会では、どんな神を信じていても受け入れてもらえます。どんな神でも礼拝していいのです。彼は、実際にいやしの力をもっており、様々な病がいやされているそうです。彼は「チャネリング」を行い、「キラエル」と呼ばれる霊と交信しています。彼は、悪霊と会話しながら生きているのです。これは、典型的なニューエイジの指導者と言えます。

☆ある有名なスピリチュアル・カウンセラー（彼の著作は、何百万部というベストセラーになっています！）は、ある本の中でこのように言っています。「この本は、私が書いたものではありません。わたしの指導霊が、わたしの肉体を通して語ったメッセージなのです」これも、ニューエイジと呼ぶことができます。

☆あるスピリチュアル・ヒーラーは、このように語っています。「守護霊のアドバイスを素直に耳を傾け、心を開いたとき、あなたは劇的に人生を変えることができるでしょう」

☆カトリックの家庭に育ったというあるアメリカ人の女性は、このように語っています。「わたしは、教会には行かないけれど、わたしの中に教会がある」彼女にとって、大いなる力や、信仰はとても大切な要素なのだそうです。人間は平等に神に創造され、愛と真理をたたえるべきだと、彼女は考えます。ですから、もし自分の恋人が違う宗教を持っていても、それを尊敬するそうです。これも、ニューエイジ的な考え方です。

また、このようなものもニューエイジ、もしくはニューエイジ的な思想から生まれてきたものです。

☆パワーストーンのようなもの。

「願いがかなう妖精のネックレス」とか、「月の女神の力の石」「なりたい自分になれるペンダント」のようなものも含まれます。何か霊的な力に頼ろうとするものです。

☆マクオビオティック

「栄養のバランスだけでなく、生物体系や霊性の進化の深い理解……」などによって組み立てられる食生活のことです。古代中国の陰陽術なども利用されます。「陰」とは大地のエネルギー、「陽」とは宇宙のエネルギーだそうです。

☆自己啓発

だいたい自己啓発と呼ばれるものは、「自分の中にある力を発見しよう」とするものです。これは、人間が人間を超えた神になっていこうとするニューエイジ的な思想から来ています。

※メディアに潜むニューエイジの思想

映画、漫画、アニメ、音楽などによっても、ニューエイジの思想は蔓延しています。次にあげるものには、ニューエイジの思想が色濃く現されています。

スターウォーズ セーラームーン 風の谷のナウシカ(映画版はそれほど明確ではありませんが、原作はまさにニューエイジ的と言えます)
ガンダム 鋼の錬金術師 などなど……。

これらのものを見ると、悪霊の影響をもらに受けるというわけではありませんが、このようなものが偽りの思想を含んでいることを覚えておく必要があります。人間は、あるものに長く触れていると、必ずその影響を受けるものです。ニューエイジ的な(つまり悪魔的な)思想が、いつの間にかわたしたちの心に浸透してしまう可能性があるのです。

ニューエイジの思想と活動は多岐にわたっており、それを一言で説明することは困難です。しかし、確かなことは、ありとあらゆるニューエイジは、サタンから出たものだということです。わたしたちは、それをはっきりと見分けなければなりません。なぜなら、ニューエイジの指導者たちが強調するポイントは、まるで聖書に書かれていることかのように感じるからです。「愛」「光」「平和」……。上記の牧師のように、実際にキリスト教徒だと公言しているニューエイジャーもいるのです！あるニューエイジャーたちは、平気で聖書の言葉を引用します。前述のスピリチュアル・ヒーラーは、このように言っています。「守護霊はあなたを苦しみから解放することが目的ではありません。あえて病気を治さないこともあるのです。あなたの霊性を高めるために、今の病気や、困難はあるのです」「しばしば、守護霊のあなたへのメッセージは、あなたの生き方の間違いをずばりと指摘することがあります。だからといって守護霊を拒否しないでください」この守護霊という言葉を、「聖霊」という言葉に置き換えたら、どうでしょう？まるで礼拝のメッセージのようですね。このように、まるで聖書が教えているようなことを、ニューエイジャーたちは語るのです。しかし、それは、ほんとうの神さまからのメッセージではなく、サタンからのメッセージです。聖書は言います。

「驚くには当たりません。サタンでさえ光の天使を装うのです」コリントⅡ 11:14

ニューエイジが強調するポイントを見ていきましょう。また、聖書はそれに対してどう言っているのか、見てみましょう。

ニューエイジが強調するポイント①「愛とゆるし」

偽りの「愛とゆるし」

愛。ニューエイジャーたちはこの言葉を受けています。人を愛すること、ゆるすことは、常に強調されています。時には「隣人を愛しなさい」という聖書の言葉も引用されます。でも、これは正しい愛ではないのです。

彼らは、どんな宗教も認めます。愛だからです。どんな神さまを礼拝していても、受け入れるのです。愛だからです。「悪いこと」というのは存在しません。つまり、人それぞれが真理であり、それぞれが神ですから、すべてが正しいと考えるわけです。

聖書が教える「愛とゆるし」

神は愛です。愛ですから、正義を持っておられます。その正義のゆえに、神は人を愛します。人を赦します。また、義のゆえに、逆らう人を裁くのです。神さまは人間に戒めを与えました。この戒めを守って生きる時に、人間には愛がとどまります。

ですから、絶対的な神さまの存在を認めないニューエイジャーにとって、次のような聖書の御言葉は、「愛がない」言葉なのです。

「男がもし、女と寝るように男と寝るなら、ふたりは忌みきらうべきことをしたのである。彼らは必ず殺されなければならない。その血の責任は彼らにある」レビ記20:13

「祭壇を壊し、石柱を砕き、アシェラ像を火にくべ、神々の彫像を切り倒して、彼らの名をその場所から消し去りなさい」申命記12:3

聖書が教えてくれる愛は、何でも受け入れることではありません。神さまが決めた基準があります。その基準の中での愛です。しかし、ニューエイジャーたちの提唱する愛には、なんの基準もありません。それは、真実の愛ではないのです。神さまは、人間に戒めを与えました。真実の愛は、その戒めの範囲の中で実現されるのです。

「このことから明らかなように、わたしたちが神を愛し、その掟を守るときはいつも、神の子供たちを愛します」ヨハネの手紙 I 5:2

ニューエイジが強調するポイント②「世界平和」

偽りの「世界平和」

ニューエイジャーたちは、すべての人も自然も地球も神も、一つの命だと考えます。ですから、その一つの命を大切にしようと、環境保護や、反戦キャンペーンを展開します。実際、環境保護を訴える活動家の中に、ニューエイジ的な思想を持っていたり、実際に霊的な現象を体験していたりする人が多くいるのは興味深いことです。彼らは、世界がひとつになり、世界政府が生まれ、通貨が統一され、平和が訪れることを夢見ています。そして人間は一つの命の中でさらに進化していくのだそうです。ニューエイジャーたちは、そのために世界平和を訴えます。彼らは世界をひとつにするように、霊(つまり悪霊)からメッセージを受けているのです。なぜ、悪霊たちは統一された世界を求めているのでしょうか？それは、聖書の言葉を読むと納得がいきます。

聖書が預言している未来とニューエイジの関係

聖書は反キリストと呼ばれる強力なリーダーが現れて、世界が統一され、通貨が統一されることを預言しています。(ヨハネの黙示録13章参照)。そして、その反キリストは、サタンによって権威を与えられている者なのです。しかしその支配は恐ろしいものです。逆らう者は皆殺しにされます。特に、クリスチャンたちは徹底的に迫害されます。

わかりますか？ニューエイジャーたちは、世界平和についてのメッセージを、自分たちが交信している霊から受けたと言っています。つまり、ニューエイジャーたちの活動は、実際にサタン(悪霊)の指示によって行われているのです！ありとあらゆるニューエイジの活動は、反キリストをこの世界に迎え、クリスチャンを皆殺しにするための準備なのです。

まさに世界は聖書が預言しているとおりになっていこうとしているのです！聖書は神さまの言葉です。サタンに結びついているニューエイジの活動は、逆に聖書の正しさを証明しているのです。

聖書が教える世界平和

神は、「愛と平和の神」(コリントⅡ 13:11)であり、わたしたちは、「平和に暮らす」(ローマ12:18)ように求められています。わたしたちは、争いを避け、平和に暮らすべきです。それがわたしたちひとりひとりに与えられた戒めです。しかし、聖書はキリストが再びこの世界にやってくるまで、戦争が続き、真の平和はやってこないことを明言しています。イエスさまの命令は、「世界中に福音を伝えなさい」でした。世界中に福音が伝わったとき、イエスさまは戻ってこられます。そして、すべての悪はほろび、真の平和がやってくるのです。つまり、福音を述べ伝えることこそ、ほんとうの平和を作り出すことになるのです。

ニューエイジが強調するポイント③「**霊**」

ニューエイジによる偽りの「**霊**」

「**霊**」。ニューエイジでは、この言葉がとても良く使われています。彼らは「体のいやし、心のいやし、精神のいやし」という言葉も使います。人間には肉体と感情の他に**霊**の部分があることを、ニューエイジャーたちは知っています。しかし、彼らは、人間は**霊**的な存在だから、人間もまた神になっていくと考えるのです。彼らに言わせれば、人間は現在、**霊**的な次元において神になっていく進化の途上なのだそうです。ありとあらゆる生き物も、自然も、宇宙からのエネルギーを受けて生きており、ひとつの**霊**だと考えます。ですから、彼らはありとあらゆる「**霊**的な」物や「**霊**的な」行動を用います。星占い、タロットカード、聖書(!)、チャネリング、瞑想、ヨガなどです。まさになんでもありなのです。

聖書が教える「**霊**」

「主なる神は…人を形づくり、その鼻に命の息(原語では**霊**)を吹き入れられた。人はこうして生きる者となった」(創世記2:7)と書かれているとおり、聖書は、人間は**霊**的な存在であると言っています。イエス・キリストを受け入れたとき、わたしたちの心には**聖霊**が住まわれますが、それによって

わたしたちが神になるわけではありません。聖霊は確かに神さまですが、わたしたちは神ではないのです。

また、聖書は神さまとひとつである聖霊と、サタンから来た悪霊が存在し、それを見分けるように教えています。すべての霊が一つではないのです。神さまからの霊と、サタンからの霊があるのです。

「愛する者たち、どの霊も信じるのではなく、神から出た霊かどうかを確かめなさい」ヨハネ I 4:1

ニューエイジが強調するポイント④「真理」

ニューエイジによる偽りの真理

ニューエイジたちは、人間は生まれつき善であり、よい性質を持っていると考えます。ですから、ひとりひとりが真理であり、何が真理なのかは自分で決めてよいと考えます。輪廻転生を信じるなら、それはそれでいいし、信じないなら、それはそれでいいのです。それがその人にとって真実だからです。どんな神を礼拝してもいいのです。それは、その人にとって真実だからです。

聖書が教える真理

真理とは、ほんとうの神さまと、その言葉です。

「イエスは言われた。『わたしは道であり、真理であり、命である』」ヨハネ14:6

「あなたの御言葉は真理です」ヨハネ17:17

人間は、生まれつき罪人であり、真理は人間の内にはありません。人間は、自分で真理を作ってはならず、真理である神さまの言葉に従わなければなりません。何でも受け入れてはなりません。神さまが「No」と言うならば、わたしたちも「No」と言い、神さまが「Yes」と言うことを、わたしたちも「Yes」と言わなければなりません。

「あなたがたは、『然り、然り』『否、否』と言いなさい。それ以上のことは、悪い者から出るのである」マタイ5:37

ニューエイジが決して触れようとしないこと

ニューエイジにおいて使われない言葉があります。「罪」と「裁き」です。ニューエイジャーたちは、たいていどんなものでも受け入れますが、神は唯一であり、そのほんとうの神さま以外のものは礼拝してはいけないという聖書の本質的な教えを拒絶します。また、イエス・キリストを受け入れない人は滅びるという真理も拒絶します。つまり、「救いはキリストのみなんて狭い考え方だ」と言うわけです。

聖書が真実であり、イエス・キリストが神だということは、歴史と、聖霊御自身が証明しています。ほんとうの神さまがいること、イエス・キリストによってのみ救われること。これは紛れもない真実です。しかし、ニューエイジャーたちはその真実を拒絶したのです。聖書は言います。「世界が造られたときから、目に見えない神の性質、つまり神の永遠の力と神性は被造物に現れており、これを通して神を知ることができます。従って、彼らには弁解の余地がありません。なぜなら、神を知りながら、神としてあがめることも感謝することもせず、かえって、むなしい思いにふけり、心が鈍く暗くなったからです。自分では知恵があると吹聴しながら愚かになり、滅びることのない神の栄光を、滅び去る人間や鳥や獣や這うものなどに似せた像と取り替えたのです。そこで神は、彼らが心の欲望によって不潔なことをするにまかせられ、そのため、彼らは互いにその体を辱めました。神の真理を偽りに替え、造り主の代わりに造られた物を拜んでこれに仕えたのです」ローマ1:20~25

ニューエイジのムーヴメントは、すべて反聖書的な思想によって行われているものです。つまり、ほんとうの神さまを無視し、自分の好きなような神観を持ち、自分の好きな真理を持つようになったのです。ニューエイジの根本的な背景は、神さまに自分勝手に神を作るようになった、偶像礼拝なのです。

このニューエイジの思想が教会や、わたしたちの心に入り込まないように、気をつける必要があります。聖書の真理に目を留め、偽りのものに惑わされないように、注意しましょう。そのために、聖書を知らなければなりません。聖書を何度も読み、聖書がわたしたちに教えていることは何なのか、はっきりと知っておきましょう。また、偽りの霊に惑わされないように、神さまの守りを祈り求めましょう。

